

学校教育目標	「つくろう明日 わたしはチャレンジャー」				
	○自ら考え、よりよく解決する力を育みます。(知) ○自分を大切にし、人を思いやる心を育みます。(徳) ○豊かな体験を通して、健やかな心と体を育みます。(体・徳) ○つながりを大切にし、よりよく生きようとする力を育みます。(公) ○コミュニケーションを通して互いの違いを理解し、ともに生きていく力を育みます。(開)				
学校概要	創立 48 周年	校長	伊藤 智樹	副校長	中里 充
	2 学期制	一般学級: 12		個別支援学級: 2	
児童生徒数: 337 人	主な関係校: 中川西中学校 荏田南中学校				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
協働して課題解決していく力 自分づくりに関する力	中川西中学校 中川西小学校 都筑小学校 すみれが丘小学校 荏田小学校	○つながりの中で、「あいさつをしっかりとる・認め合い、励まし合い、高め合う・自らの課題を見つけ、解決しようとする」子ども ・担当者会で得た情報を基に、「荏田っ子スタンダード」などの改善。 ・児童生徒交流日や中学校見学だけでなく、中学校教師による授業などの充実。 ・小中での連携を深め、子どもの学びや生活のつながりを意識したカリキュラムの作成。

中期取組目標	○学校教育目標の実現を目指して、活力と魅力にあふれた学校づくりをします。 ・一人ひとりの子どもが、学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進し、学力向上を目指します。 ・人間関係のつくり方を学ぶことを通して、個々の違いを認めともに学び合う風土づくりを行います。 ・保護者、地域との連携、協働の中で、豊かな心を育てます。 ・健康教育と食育の充実を図り、健康でたくましい体を育てます。 ・教職員が相互に啓発、連携する活気にあふれた学校運営を行います。また学校として組織的対応を行い、子どもを育てます。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①身につけさせたい力と評価規準を明確にし、子ども同士の学び合いを重視した主体的な学習を創造していく。②重点研究で国語を取り上げ、子ども同士がかかわり合いながら問題解決をしていく過程で、思考力・表現力を伸ばしていけるようにする。
担当 研究部	
豊かな心	①学習やささまざまな行事等を通して地域の方々とのふれあい、豊かな人間関係を育めるようにする。②荏田小の特色ある学び(生産活動・縦割り活動による学び・地域の方々との活動による学び)の創造を継続していく。
担当 福祉ふれあい委員会・環境教育委員会	
健やかな体	①体育では、友達とかかわりながら楽しんで技能を高め、体力をつけていく授業を行うとともに休み時間に友達と外で体を動かして、心身ともに育っていくように支援する。②持久走と大縄・短縄運動の取組を継続できるよう、教職員の共通理解のもと健康委員会の活動を進めていく。
担当 体育部	
児童生徒指導	①YPアセスメントを適宜実施し学級や子どもの実態を把握し、子ども一人ひとりの自尊感情を高められ、安心して過ごせる環境を作り出せるようにする。②人権週間での取組を子どもの実態に合わせて行い、人権意識の涵養を図るとともに、高学年への情報モラル教育を実施していく。
担当 児童支援委員会・人権教育委員会	
特別支援教育	①特別な支援が必要な子ども一人ひとりの力を十分に伸ばすために「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」を用い、指導・支援を行う。②横浜型センター的機能等をはじめとする関連機関とも積極的に連携し、子ども一人ひとりの力を伸ばすために組織的な活動を進めていく。
担当 児童支援委員会	
地域連携	①稲作体験活動やもちつき祭りなど、学習や行事を通してまちの方々とのふれあいを重視し、感謝の気持ちを持ち、まちを大切にする態度を養う。②学校・地域コーディネーターとの連携を密にし、学校支援ボランティアによる活動を整備・拡充させ、まちと共に歩む学校を目指していく。
担当 教務部・福祉ふれあい委員会	
学校運営協議会	①学校経営方針を理解していただけるよう努め、家庭や地域と一体となって特色ある学校づくりを推進できるようにする。②構成委員の方々の意見に真摯に耳を傾け、学校運営に生かし、子どもたちを見守る温かい支援の輪を築いていけるようにする。
担当 教務部	
いじめへの対応	①YPアセスメントによる児童の人間関係分析をするとともに「子どもの社会的スキル横浜プログラム」を授業等で活用し集団の育成に役立てる。②案件等発生の際には、いじめ防止対策委員会で早急に対応するとともに認知された案件の適切な進捗管理を行い再発防止に務める。
担当 いじめ防止委員会	
人材育成・組織運営(働き方改革)	①経験が浅い教員でメンターチームを組織し、先輩教師の助言のもと授業研究や実技研修を行い指導力の向上を目指す。②週に1回教務会を実施し、ミドルリーダー等が全体を見通しながら学校運営に参画する場を設定する。③グループウェア等を導入して情報の共有化を図ることで会議を効率化させ、働き方改革につなげていく。
担当 教務部	